

Adobe After Effects 模擬授業体験

本日の作品制作

今回は模擬授業体験として、Adobe After Effects を活用して作品を制作します。ソフトピア共同研究室のマスコットキャラクターのシルクちゃんに、After Effects で効果をつけていきます！カッコいい動画を制作しましょう！



図1. ソフトピア共同研究室マスコット

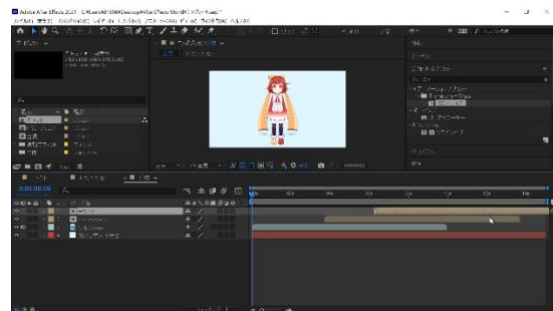


図2. After Effects の編集画面

Adobe After Effects ってどんなソフトウェア？

今回使う After Effects は映像の加工が得意なソフトウェアです。Music Video や YouTube などよく使われているソフトウェアとして、Adobe Premiere Pro があり、カット・編集をすることが得意です。しかし、よりクオリティの高い動画を制作しようとなると、After Effects が必要になってきます。

After Effects で制作できるものとして、映画では炎や雷といった特殊効果、CG や人物の合成など、実現することが難しい画面効果を制作することができます。ほかにも、CM や YouTuber のオープニング映像などで使われるようなリッチな表現をすることができます。



図3. 水のように崩れる文字効果

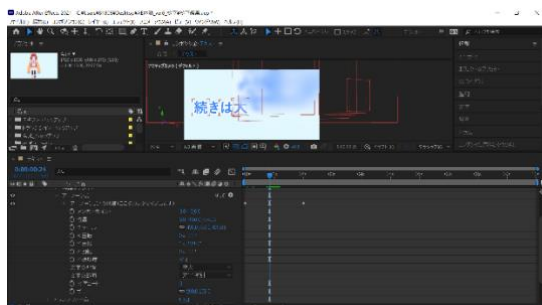


図4. LINE のやりとり風効果

Music Video や YouTube で見るようなアニメーションの制作

☑ Music Video で見るような テキストアニメーションの制作

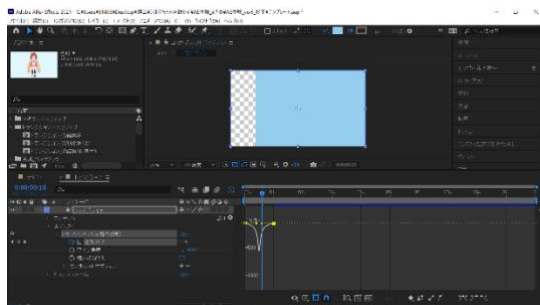
細かい動きを制作しよう！



大きさ、XYZ 軸での回転、ぼかし具合など、
様々なカスタマイズをすることができます。

☑ YouTube で見るような 場面転換の制作

速度を調整して面白い動きを制作しよう！



今回はグラフエディターという速度を調整する
ことができるツールを使ってもらいます。

おまけ:エフェクト

After Effects では特殊効果を用いてキラキラ、電撃、爆発といったエフェクトを制作することができます。今回は学生が自ら制作したものがあるので合成してみます。



図5. キラキラエフェクト



図6. 電撃エフェクト

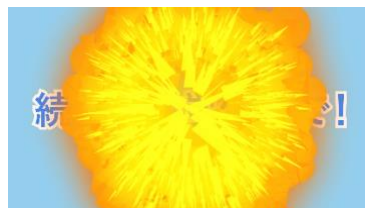


図7. 爆発エフェクト

今回の講座を通して伝えたいこと

今の時代は情報伝達手段が多様化しています。今回は体験してもらった動画、この紙面のように、動画と紙面でアプローチをしています。体験と簡単に振り返ることができる紙面でアプローチすることにより、分かりやすく心に残ると考えられます。つまり、一つのものを完璧に作る専門性よりも多様性が重視される世の中になりました。

ゆえに、一つの物事にとらわれず興味が沸いたらドンドン様々なコトに触れてみましょう！
この多様化した時代における学びができるのが情報メディア学科の特徴です。